

2 各部の基本納まり図

2-11 下屋根部

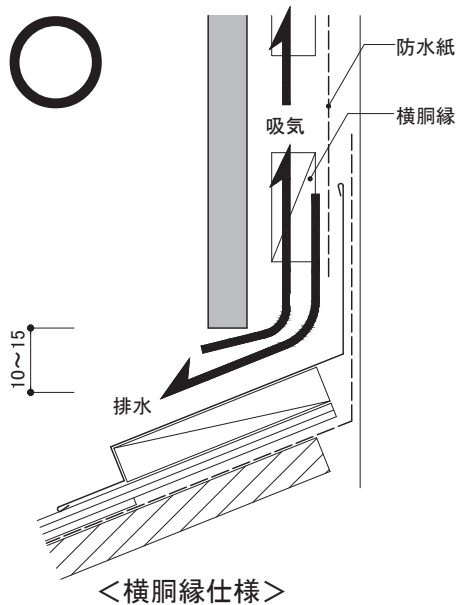
1) 基本納まり

- 下屋根部は外壁通気構法の「吸気」、浸入水などの「排水」を行います。
- 雨ハネ回避、吸気・排水のため、センターサイディングと雨押えの間に10～15mmの隙間を設けます。
- 棟側を縦胴縁のみで納める場合は、防水紙と雨押えの間に必ず両面防水テープを施工します。

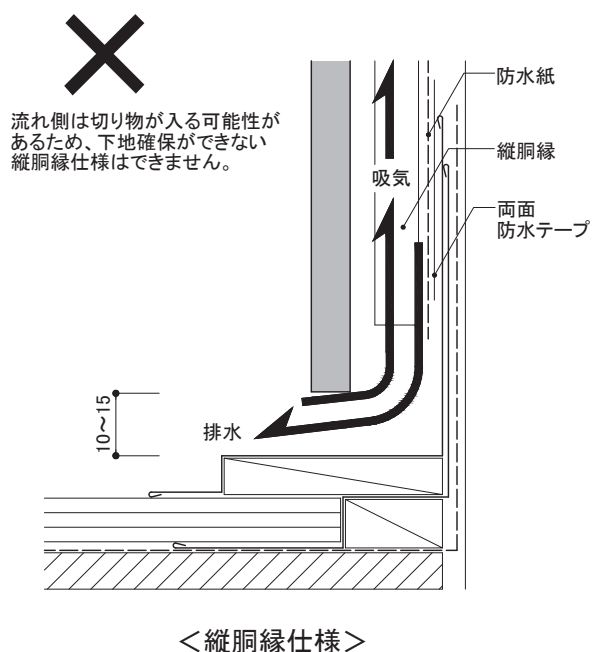
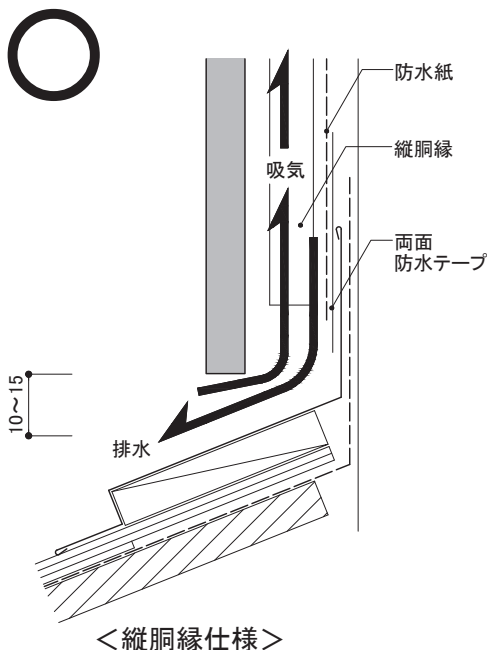
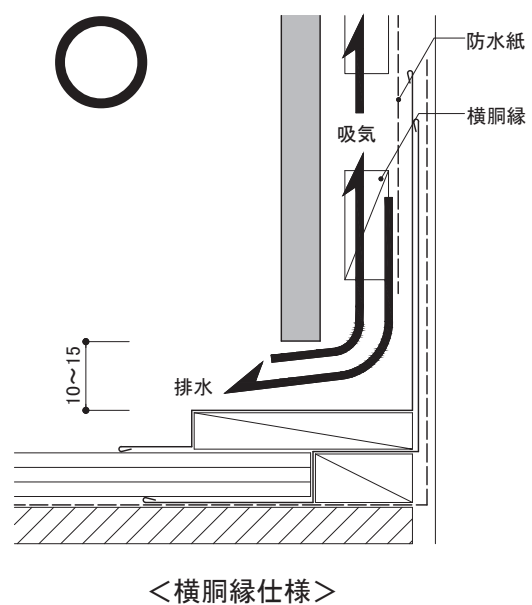
横胴縁で防水紙を押さえる場合は、両面防水テープは不要です。

※流れ側は必ず横胴縁を取り付けます。

棟側



流れ側



流れ側は切り物が入る可能性があるため、下地確保ができない縦胴縁仕様はできません。